八王子市版　情報活用能力系統表（情報リテラシー編）

令和４年１２月　Ver1.0

分類	項目	第１・２学年（小・義務）	第３・４学年（小・義務）	第５・６学年（小・義務）	第１学年（中）　第７学年（義務）	第２・３学年（中）　第８・９学年（義務）
倫理 法 きまり 約束	**子どもの姿**	**・自他の大切さを理解し、情報ツールを使用できる。**	**・自他の情報の大切さを理解し、インターネットの特性を意識して適切に行動できる。**	**・情報に関する自他の権利を知ることができる。 ・ルールやマナーを守り、チャット、電子掲示板、ウェブ、SNSなどを利用できる。**	**・情報に関する個人の権利と重要性について理解し、適切に行動できる。 ・目的に応じて、チャット、電子掲示板、ウェブ、SNSなどを適切に利用できる。**	**・情報に関する法律や制度について理解し、適切に行動できる。 ・目的に応じて、チャット、電子掲示板、ウェブ、SNSなどを効率的に利用できる。**
	決まりを守る	学習用端末などの使い方ときまりを守って使用する。	学習用端末などの使い方ときまりを守る意味や意義を知る。	—	学習用端末などの使い方ときまりを協力して検討する。	—
	自他を大切にする 法や権利について知り守る	自分や相手の大切さを知る。 日常での正しい言葉遣いを知る。	相手の気持ちを考えた言葉遣いを意識して情報ツールを使う。	インターネット上のトラブルへの対処法を知る。 自己の発信が他人への誹謗中傷にならないか、立ち止まって考えながら情報を発信する。	情報社会における自分の責任や義務について考え、行動する。	情報が広がる仕組みについて知る。
		人の作ったものを大切にする。	自分の情報や他人の情報を大切にする。	情報にも、自他の権利（著作権、肖像権等）があることを知り、尊重する。 インターネット上の文章や写真を使用するときの注意点を知る。	情報の保護や取扱いに関する基本的なルールや法律の内容を知る。	個人や組織の権利（人格権、著作権、肖像権等）について知り、尊重する。 違法ダウンロードが社会的制裁を受ける可能性があることを理解する。
公共 コミュニケーション	**子どもの姿**	**・インターネット上の基本的なルールやマナーについて身に付けることができる。**	**・インターネット上の基本的なルールやマナーについて意味を理解して守ることができる。**	**・インターネットの公共性について理解できる。**	**・情報や情報技術を、よりよい生活や持続可能な社会づくりに活かそうとすることができる。**	**・情報や情報技術を、暮らしやすい社会や持続可能な社会の構築に活かそうとすることができる。**
	インターネット上を公共の場として捉えて行動する	インターネット上でやり取りする際のルールやマナーを知る。 【場】主に学習での活用	情報の発信や情報をやりとりする場合のルールやマナーを理解し、守ることができる。 【場】係活動での活用	「ルールや決まりを守る」ことの社会的意味を理解し、尊重する。 【場】クラブ、委員会活動での活用	特別活動（委員会活動・行事等）で主体的に活用する。 インターネットの公共性を意識して使う。 【場】学校間での活用	デジタルメディアが社会で果たす役割について理解し、情報を活用して社会課題の解決に活かす。
		日常での正しい言葉遣いを知る。 インターネット上でも正しい言葉遣いが必要であることを知る。	インターネット上で場に応じた正しい言葉遣いをする。	インターネット上で正しくない言葉遣いなどを見たときに、その場から離れ大人に知らせるなど、とるべき行動を知る。	インターネットやSNS上で、人の安全を脅かす行為に遭遇したときの対処法を知る。	SNS上で正しい言葉遣いで相手とコミュニケーションを取る。
プライバシー セキュリティ	**子どもの姿**	**・自身の個人情報を守ることができる。 ・情報機器を使用する際の基本的なルールに基づき正しく使用できる。**	**・ＩＤやパスワードを適切に管理し、安全に利用できる。 ・情報を守るための基本的な方法を知り、利用できる。**	**・情報を守るための方法について、自身で意識的に確認しながら利用できる。 ・危険を予測し対処する方法を知ることができる。**	**・情報セキュリティについて知り、使用できる。 ・目的に応じてソフトやインターネット上のサービス等を安全に利用できる。**	**・情報セキュリティー確保のための効果的な対策を実施することができる。 ・トラブル等に適切に対処できる。**
	自他のプライバシーを守る	パスワードの大切さについて知る。 パスワードを他人に教えない。	パスワードの設定方法を知る。	より安全性の高いパスワードの設定方法を知る。	安全性の高いパスワードに更新する。	パスワードの安全性が失われた時に適切に対応する。
		プライバシーについて知る。	オンラインの足跡（閲覧データ等）について知る。 インターネット上の情報は完全に消せないことを理解する。	フィッシング詐欺の存在や対処法について知る。 契約行為の意味を知り、オンラインで勝手な判断で行わない。	インターネット上の情報は完全に消せないことを理解する。	—
	安全な利用・危険予測と対処する	情報が共有できることを知り、大人の指示に従って情報を共有する。	情報の安全な共有方法について理解する。	共有先や共有の範囲を確認して情報を共有する。	データの安全な取扱いやデータ共有時の注意など、情報セキュリティの基礎的な知識を身に付ける。	—
		安全なウェブサイトを閲覧する。 困ったときに大人に相談する。	ウェブサイトを利用する際の危険性を知る。 危険に出合ったときは、大人に意見を求め、適切に対応する。	安全なウェブサイトかどうか判断する方法を知る。	安全なウェブサイトかどうか判断し、閲覧する。	ウェブページの表示トラブルや、フィッシングサイトの閲覧など、端末やアカウントの安全性が失われた時に適切に対応する。
			コンピュータウイルスやフィッシングなどについて知る。 むやみにデータをダウンロードしない。	予測される危険の内容が分かり、避ける。 情報の消滅や流出を防ぐ方法を知る。	安全性の面から、情報の拡散しやすさやAIにより与えられる情報の偏りなど、情報社会の特性を理解する。	トラブルに遭遇したとき、主体的に解決を図る方法を知る。
メディアリテラシー	**子どもの姿**	**・大人の助言に従って、正しい情報を扱うことができる。**	**・情報の正しさを意識しながら情報を扱うことができる。**	**・情報の信頼性の検討方法を知ることができる。**	**・主体的に情報の真偽や信頼性を確かめながら情報を利用できる。**	**・自他を偽の情報から守ることができる。**
	情報の信頼性を吟味する	大人の助言に従い、誤った情報や不適切な情報に近付かない。	インターネットには誤った情報や不適切な情報があることを知り、そのことを意識して情報を扱う。	信頼できるサイト、信頼できないサイトを見極める方法を知る。 ニュース記事等、インターネット情報の重要な部分を見付け出す方法を知る。	信頼できるサイト、信頼できないサイトを見極める。 ニュース記事等の情報の信頼性を吟味する。	偽の情報にだまされることを避ける方法を知る。
健康	**子どもの姿**	**・大人の指示や助言に従い、健康面に配慮して使用することができる。**	**・健康面に配慮して使用することの大切さを知り、使用することができる。**	—	—	—
	健康面に配慮して使用する	決められた利用の時間や約束を守る。 正しい姿勢や休息の時間について理解し、健康に留意することができる。	健康のために利用時間を決め、守る。 自分で正しい姿勢や休息の時間を意識する。	—	—	—

・これまで「情報モラル」として扱っていたものを「情報リテラシー」とし、情報活用能力の一部として位置付けます。
・内容は「情報モラル指導カリキュラムチェックリスト」（八王子市で令和4年度まで参考資料としていたもの）を基に作成しています。
・内容を5項目に分類しています。各項目に応じて各教科等の年間指導計画に【情活】として位置付け、指導をお願いします。
・分類の「メディアリテラシー」には、現在小学校と中学校で行われている、外部講師を招聘したメディアリテラシー教育も含みます。（【情活】と位置付けてください。）